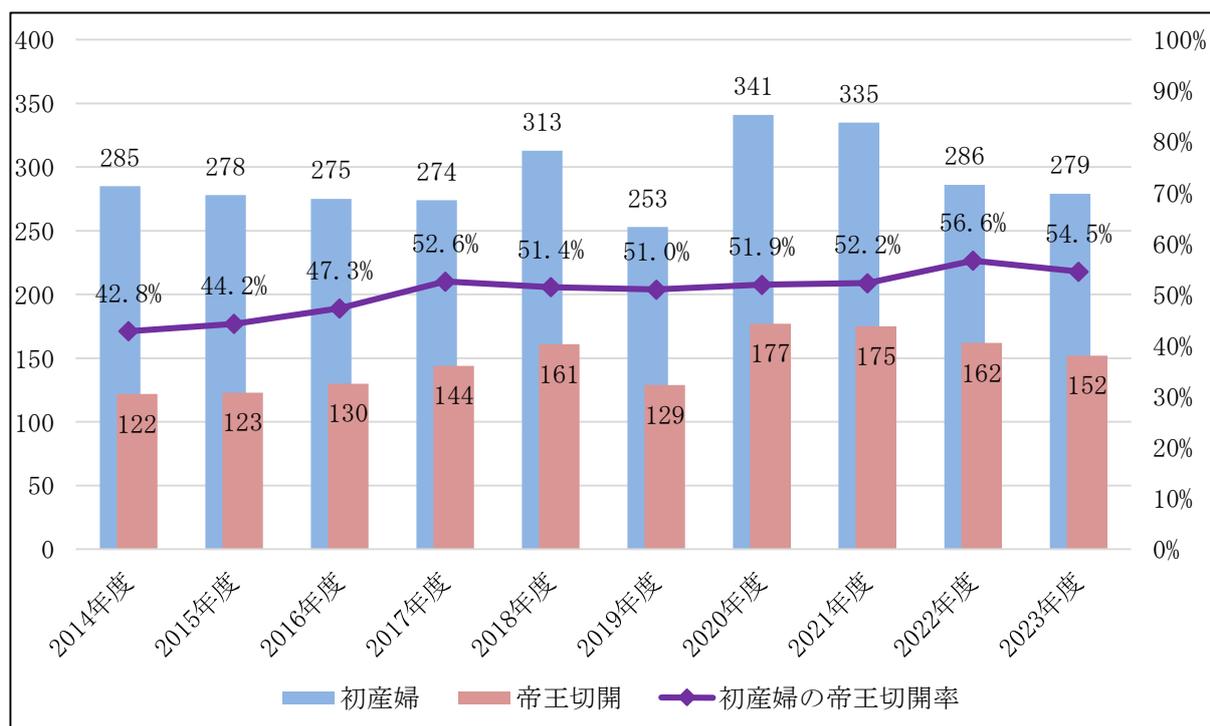


初産婦の帝王切開率



当院の初産婦における帝王切開率は全国平均に比して非常に高く、ローリスク妊娠・分娩を主体として取り扱う一般的な分娩施設の約3倍である。その理由として、高次機能病院の総合周産期母子医療センターであることから、ハイリスク妊娠・分娩の割合が高く、多くの救急搬送や胎児異常にも応需している点が挙げられる。

トレンドとしては、初産婦の帝王切開率は2014年度以降から漸増傾向となり、2017年度に50%に到達し、それ以降は横ばいの状況であったが、最近2年間は若干上昇している。これは、2020～2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響から母体搬送件数の増加が関与した可能性も考えられるが、現在は流行前の状況に戻っており、今後の推移をフォローする必要がある。さらに、我が国全体の分娩数が減少する一方で、高齢妊娠や合併症を有する妊産婦などのハイリスク妊娠・分娩例は増加していることから、初産婦の帝王切開率の割合は当面のところ今後も漸増していくものと推測される。

データ提供 看護部 B-3 病棟 (産科)